

# 夏鳥の初認・初鳴き調査

堀田昌伸

地球温暖化により、生きものの季節性や分布等に変化が生じていることが多くの生きもので報告されつつあります。鳥の初認日・初鳴き日の長期的かつ広範囲の観測については、気象庁の生物季節観測などがあり、ウグイスの初鳴き日とツバメの初見日が観測種目となっています。

研究所では昨年から、2月から6月に県内の野鳥に詳しい市民団体の協力を得て、それらの団体の会員に、会報やメーリングリスト、twitterなどで、オオルリ(写真)などの夏鳥14種、そして、県内では留鳥あるいは漂鳥のヒバリとウグイスの2種、計16種の初認日と初鳴き日の情報提供をお願いしました(表1)。寄せられた情報は研究所のホームページに随時更新し、情報提供してくださった方に夏鳥の初認や初鳴きの状況がGoogleマップ上で分かるようにしました。

([http://www.pref.nagano.lg.jp/xseikan/khozen/sizen/coolearth/summer\\_birds\\_map.htm](http://www.pref.nagano.lg.jp/xseikan/khozen/sizen/coolearth/summer_birds_map.htm))



日本三鳴鳥の一種、オオルリ (植松晃岳氏撮影)

さて、その結果についてですが、2011年は105名の方から470件、2012年はまだ整理中ですが、2011年を上回る100名以上の方から500件以上の情報が寄せられました。寄せられた情報が多い種は、両年ともカッコウ、ツバメ、ウグイスの3種でした。いずれの種も人里近くに住み、みなさんの関心が高い種です。

昨年は全国的にツバメの渡来が例年になく遅い年で、私たちの調査による平均初認日は4月9日でした。今年は昨年よりも6日早い4月3日でした。全国的にも今年のツバメの初認日は平年並みだったようです。しかし、ツバメが子育てをする人家の軒下にツバメがなかなか来ないという印象があり、4月始めの寒い日が続いていた時に、万水川(安曇野市穂高)を訪れた際に50~100羽のツバメが水面近くを力なく飛びながら餌を探していたのを覚えています。もう1つ、印象に残っているのが今年はカッコウがなかなかやってこないというものでした。結果を見ると、平均初認日は昨年の5月19日に対し今年は5月20日でそれほど差がありませんでした。昨年は早い時期から

カッコウの便りが寄せられたのに対し、今年は県内に一気にやってきたことがそのような印象を与えたのではないかと思います(図1)。カッコウ、ホトトギス、キビタキの3種をのぞいて、今年の方が早く確認されました(表1)。越冬地や中継地、渡りルートは種によって異なりますが、同じような傾向が見られることは興味深いと思います。

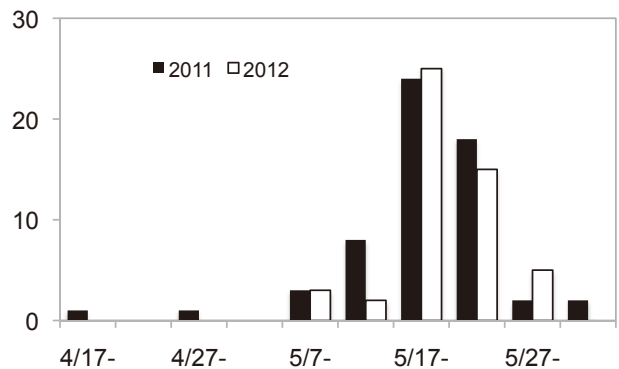


図1. カッコウの渡来日、2011年と2012年の比較

今年でまだ2年目ですが、皆さんの協力で16種の初認や初鳴きの様子が分かったのは大きな成果だと思います。しかし、地球温暖化や気候変動との関連などを見るには長期的な調査が必要です。来年以降もさまざまな団体や個人の協力を得ながら継続していきたいと思っています。

表1. 夏鳥の初認・初鳴き日、2011年と2012年の比較

種名	2011			2012		
	平均 ±	標準偏差	N	平均 ±	標準偏差	N
ジュウイチ	5/20 ± 3		8	5/15 ± 8		13
カッコウ	5/19 ± 7		59	5/20 ± 5		50
ツツドリ	5/5 ± 7		22	5/1 ± 9		22
ホトトギス	5/24 ± 5		22	5/25 ± 5		19
ツバメ	4/9 ± 8		49	4/3 ± 6		63
イワツバメ	4/2 ± 10		24	3/28 ± 8		35
サンショウクイ	4/30 ± 5		29	4/25 ± 7		28
クロツグミ	4/29 ± 13		31	4/15 ± 6		40
ヤブサメ	4/28 ± 5		18	4/22 ± 5		20
オオヨシキリ	5/11 ± 10		15	5/5 ± 7		26
センダイムシクイ	4/26 ± 7		30	4/22 ± 5		31
キビタキ	4/24 ± 9		31	4/26 ± 7		32
オオルリ	4/29 ± 5		27	4/24 ± 9		34
コムクドリ	4/29 ± 11		17	4/20 ± 10		22
ウグイス	4/7 ± 15		65	4/4 ± 12		59
ヒバリ	3/31 ± 21		24	3/23 ± 16		18

